

2025 年度 総合型選抜・学校推薦型選抜合格者 教育学部 学校教育課程家庭専修 入学前課題

この度は、文教大学教育学部学校教育課程家庭専修への合格、おめでとうございます。

本学では、入学までの期間をより充実したものにするため、総合型選抜・学校推薦型選抜合格者の皆様に専修ごとの課題を用意しております。

下記の事項をよくお読みいただき、4月のオリエンテーション時に持参してください。

桜咲きはこる4月に、新入生の皆様をお迎えできることを、心より楽しみにしています。

文教大学 教育学部学校教育課程家庭専修

【課題】

- ◎ 岩波ブックレット No.801 以降（同封の別紙参照）から5冊選び、それぞれについて感想文を 2,000 字以上にまとめること。（書式に指定はありません。）

問い合わせ先

文教大学教育学部学校教育課程家庭専修準備室

Tel : 048 (974) 8811 内線2153

Mail : z5005431@bunkyo.ac.jp (担当:後藤)

※岩波ブックレットは各地の図書館にも多く所蔵されています。入手しやすい方法を選び、内容をしっかり読み取って下さい。

岩波ブックレット (No.801～)

801	終わりにきアスベスト災害 地震大国日本への警告	宮本 憲一、森永 謙二、石原 一彦 編
802	原発と日本の未来——原子力は温暖化対策の切り札か	吉岡 斉
803	きびしい時代を生きぬく力	香山 リカ、江川 紹子
804	シベリア抑留は「過去」なのか	栗原 俊雄
805	就活とブラック企業 現代の若者の働きかた事情	森岡 孝二 編
806	「コミュニケーション能力がない」と悩む前に——生きづらさを考える	貴戸 理恵
807	裁判員時代に死刑を考える	郷田 マモラ、竹田 昌弘
808	雇用破壊最前線——雇止め・派遣切り・条件切り下げ	中野 麻美
809	現地発 エジプト革命——中東民主化のゆくえ	川上 泰徳
810	今こそ、エネルギーシフト 原発と自然エネルギーと私達の暮らし	飯田 哲也、鎌仲 ひとみ
811	父親になる、父親をする——家族心理学の視点から	柏木 恵子
812	二つの憲法——大日本帝国憲法と日本国憲法	井上 ひさし
813	被爆を生き延びて——作品と生涯を語る	林 京子／【聞き手】島村 輝
814	取り返しのつかないものを、取り返すために——大震災と井上ひさし	大江 健三郎、内橋 克人、なだ いなだ、小森 陽一
815	震災トラウマと復興ストレス	宮地 尚子
816	フォト・ルポタージュ 福島 原発震災のまち	豊田 直巳
817	キャッシュ・フォー・ワーク 震災復興の新しいしくみ	永松 伸吾
818	ドイツは脱原発を選んだ	ミランダ・A. シュラーズ
819	原発とヒロシマ 「原子力平和利用」の真相	田中 利幸、ピーター・カズニック
820	第五福竜丸から「3.11」後へ 被爆者大石又七の旅路	小沢 節子
821	原発をどうするか、みんなで決める——国民投票へ向けて	飯田 哲也、今井 一、杉田 敦、マエキタ ミヤコ、宮台 真司
822	原発への非服従 私たちが決意したこと	鶴見 俊輔、澤地 久枝、奥平 康弘、大江 健三郎
823	メディアをつくる——「小さな声」を伝えるために	白石 草
824	さようなら原発	鎌田 慧 編
825	原発難民日記 怒りの大地から	秋山 豊寛
826	未来に語り継ぐ戦争	東京新聞社会部 編
827	検証 原発労働	日本弁護士連合会 編
828	グローバル時代のアジア地域統合——日米中関係とTPPのゆくえ	羽場 久美子
829	大災害と子どもの心——どう向き合い支えるか	富永 良喜
830	「主権者」は誰か 原発事故から考える	日隅 一雄
831	原発と自治体 「被害」とどう向き合うか	金井 利之
832	内部被曝	矢ヶ崎 克馬、守田 敏也
833	検証 大阪の教育改革——いま、何が起きているのか	志水 宏吉
834	中国 原発大国への道	郭 四志
835	運命を生きる——闘病が開けた人生の扉	浅野 史郎
836	原発は不良債権である	金子 勝
837	「学び」という希望——震災後の教育を考える	尾木 直樹
838	ひきこもりのライフプラン——「親亡き後」をどうするか	齋藤 環、畠中 雅子
839	避難する権利、それぞれの選択——被曝の時代を生きる	河崎 健一郎、菅波 香織、竹田 昌弘、福田 健治、
840	日本の保育はどうなる——幼保一体化と「こども園」への展望	普光院 亜紀
841	フォトエッセイ 希望の大地 「祈り」と「知恵」をめぐる旅	桃井 和馬
842	学校を改革する——学びの共同体の構想と実践	佐藤 学
843	3.11後の自衛隊——迷走する安全保障政策のゆくえ	半田 滋
844	年表 昭和・平成史 1926-2011	中村 政則、森 武麿 編
845	内村鑑三をよむ	若松 英輔
846	知っていますか、朝鮮学校	朴 三 石
847	「マイナンバー法」を問う	清水 勉、桐山 桂一
848	自治体の平和力	池尾 靖志
849	震災と言葉	佐伯 一麦
850	信用金庫の力——人をつなぐ、地域を守る	吉原 毅
851	地域再生——逆境から生まれる新たな試み	香坂 玲
852	災害支援に女性の視点を!	竹信 三恵子、赤石 千衣子 編
853	何のための秘密保全法か——その本質とねらいを暴く	海渡 雄一、前田 哲男
854	精神科病院を出て、町へ——ACTがつくる地域精神医療	伊藤 順一郎
855	いま考えなければならないこと——原発と震災後をみすえて	加藤 周一、凡人会
856	金融危機は再びやってくる——世界経済のメカニズム	伊藤 正直
857	過労死のない社会を	森岡 孝二 編
858	ルポ 労働格差とボビュリズム——大阪で起きていること	藤田 和恵
859	ほんとうにいいの? デジタル教科書	新井 紀子
860	エネルギー転換の経済効果	小野 善康
861	「領土問題」の論じ方	新崎 盛徳、岡田 充、高原 明生、東郷 和彦、最上 敏樹
862	ギャンブル大国ニッポン	古川 美穂
863	3.11以後 何がかわらないのか	大澤 真幸、松島 泰勝、山下 祐介、五十嵐 武士、水野 和夫
864	文明の渚	池澤 夏樹
865	3.11を心に刻んで 2013	岩波書店編集部 編
866	原発賠償を問う——曖昧な責任、翻弄される避難者	除本 理史
867	いま、憲法の魂を選びとる	大江 健三郎、奥平 康弘、澤地 久枝、三木 睦子、小森 陽一
868	劣化ウラン弾——軍事利用される放射性廃棄物	嘉指 信雄、振津 かつみ、佐藤 真紀、小出 裕章、豊田 直巳
869	非正規公務員という問題——問われる公共サービスのあり方	上林 陽治
870	ハンドブック 集団的自衛権	浦田 一郎、前田 哲男、半田 滋
871	安倍改憲政権の正体	齋藤 貴男
872	性について語ろう——子どもと一緒に考える	池上 千寿子
873	書籍文化の未来——電子本か印刷本か	赤木 昭夫
874	安倍政権で教育はどう変わるか	佐藤 学、勝野 正章
875	放射能汚染と学校給食	牧下 圭貴
876	TPPで暮らしはどうなる?	鈴木 宣弘、天笠 啓祐、山岡 津一郎、色平 哲郎
877	新型インフル パンデミックを防ぐために	外岡 立人
878	憲法は誰のもの?——自民党改憲案の検証	伊藤 真
879	福島から問う教育と命	中村 晋、大森 直樹
880	原発は火力より高い	金子 勝
881	再生可能エネルギーがひらく未来	エイモリー・ロビンズ、新原 浩朗、福山 哲郎、佐和 隆光、 村上 憲郎、槌屋 治紀
882	<異文化>よ、さらば——植民地、戦争、原発を語る	幸 淑 玉、富山 妙子
883	「国土強靱化」批判——公共事業のあるべき「未来モデル」とは	五十嵐 敬喜
884	自然エネルギーQ&A	自然エネルギー財団 編
885	日本人は民主主義を捨てたがっているのか?	想田 和弘
886	原子力と理科教育: 次世代の科学的リテラシーのために	笠 潤平
887	非核芸術案内: 核はどう描かれてきたか	岡村 幸宣

888	守られなかった奇跡の山：高尾山から公共事業を問う	高尾山の自然をまもる市民の会 編
889	ベアデ・シロタと日本国憲法：父と娘の物語	ナスリーン・アジミ、ミッシェル・ワッセルマン；小泉 直子訳
890	海をよみがえらせる：諫早湾の再生から考える	佐藤 正典
891	改憲問題Q&A	自由人権協会 編
892	国家安全保障基本法批判	青井 未帆
893	フォト・ボルター・ジュー福島を生きる人びと	豊田 直巳
895	異議あり!新国立競技場：2020年オリンピックを市民の手に	森 まゆみ 編
896	産後ケア：なぜ必要か何ができるか	福島 富士子、みつい ひろみ
897	アルコールとうつ・自殺：「死のトライアングル」を防ぐために	松本 俊彦
898	日本の労働を世界に問う：ILO条約を活かす道	牛久保 秀樹、村上 剛志
899	社会を結びなおす：教育・仕事・家族の連携へ	本田 由紀
900	調査報告「学力格差」の実態	志水 宏吉、伊佐 夏実、知念 渉、芝野 淳一
901	われ反抗す、ゆえにわれら在り：カミュ『ペスト』を読む	宮田 光雄
902	科学のこれまで、科学のこれから	池内 了
903	つながりを煽られる子どもたち：ネット依存といじめ問題を考える	土井 隆義
904	アートで平和をつくる：沖縄・佐喜真美術館の軌跡	佐喜真 道夫
905	ブラック企業のない社会へ：教育・福祉・医療・企業にできること	今野 晴貴、黒 一郎、藤田 孝典、上西 充子、大内 裕和、嶋崎 量、常見 陽平、ハリス 鈴木 絵美
906	核兵器を禁止する	川崎 哲
907	もっと変わる!介護保険	小竹 雅子
908	教育委員会は不要なのか：あるべき改革を考える	中嶋 哲彦
909	自転車に冷たい国、ニッポン：安心して走れる街へ	馬場 直子
910	私たちは政治の暴走を許すのか	立憲デモクラシーの会 編
911	アベノミクスと暮らしのゆえ	山家 悠紀夫
912	動かすな、原発。：大飯原発地裁判決からの出発	小出 裕章、海渡 雄一、島田 広、中尾 哲演、河合 弘之
913	いのちが危ない残業代ゼロ制度	森岡 孝二、今野 晴貴、佐々木 亮
914	「定常経済」は可能だ!	ハーマン・デイリー；枝廣 淳子聞き手
915	ルボ虐待の連鎖は止められるか	共同通信「虐待」取材班
916	外国人労働者受け入れを問う	宮島 喬、鈴木 江理子
917	ルボチェルノブイリ28年目の子どもたち：ウクライナの取り組みに学ぶ	白石 草
918	憲法九条は私たちの安全保障です。	梅原 猛、大江 健三郎、奥平 康弘、澤地 久枝、鶴見 俊輔 池田 喬代子、金 泳鎬、阪田 雅裕
919	No. 919 火山と原発：最悪のシナリオを考える	古儀 君男
921	秘密保護法対策マニュアル	海渡 雄一
922	小学校からの英語教育をどうするか	柳瀬 陽介
923	安倍政権とジャーナリズムの覚悟	原 寿雄
924	知りたい!ソーシャルワーカーの仕事	木下 大生、藤田 孝典
925	原発 決めるのは誰か	吉岡 斉、寿楽 浩太、宮台 真司、杉田 敦
926	「エネルギー自治」で地域再生!：飯田モデルに学ぶ	諸富 徹
927	原発避難者の声を聞く：復興政策の何が問題か	山本 薫子、高木 竜輔、佐藤 彰彦、山下 祐介
928	バレスチナ戦火の中の子どもたち	古居 みづえ
929	いま、「靖国」を問う意味	田中 伸尚
930	和解は可能か：日本政府の歴史認識を問う	内田 雅敏
931	「水素社会」はなぜ問題か：究極のエネルギーの現実	小澤 祥司
932	「昭和天皇実録」にみる開戦と終戦	半藤 一利
933	「テロに屈するな!」に屈するな	森 達也
934	女性活躍後進国ニッポン	山田 昌弘
935	だれが墓を守るのか：多死・人口減少社会のなかで	小谷 みどり
936	B型肝炎：なぜここまで拡がったのか	奥泉 尚洋、久野 華代
937	民主主義をあきらめない	浜 矩子、柳澤 協二、内橋 克人
938	学問の自由と大学の危機	広田 照幸、石川 健治、橋本 伸也、山口 二郎
939	アクセシブルデザインの発想：不便から生まれる「便利製品」	星川 安之
940	男性の非暴力宣言：ホワイトリボン・キャンペーン	多賀 太
941	いまこそ民主主義の再生を!：新しい政治参加への希望	中野 晃一
942	君が戦争を欲しないならば	高畑 勲
943	データでわかる世界と日本のエネルギー大転換	レスター・R.ブラウン、枝廣 淳子
944	アメリカ人が伝えるヒロシマ：「平和の文化」をつくるために	スティーブン・リーバー
945	憲法に緊急事態条項は必要か	永井 幸寿
946	お買いもので世界を変える	日本弁護士連合会消費者問題対策委員会
948	水俣病を知っていますか	高峰 武
949	電力自由化で何が変わるか	小澤 祥司
950	田園回帰がひらく未来：農山村再生の最前線	小田切 徳美、広井 良典、大江 正章、藤山 浩
951	「愛国心」に気をつけろ!	鈴木 邦男
952	分断社会・日本：なぜ私たちは引き裂かれるのか	井手 英策、松沢 裕作
953	「主権者教育」を問う	新藤 宗幸
954	語り遺す戦場のリアル	共同通信「戦争証言」取材班 編
955	ディーゼル車に未来はあるか：排ガス偽装とPM2.5の脅威	杉本 裕明、嵯峨井 勝
956	南シナ海でなにが起きているのか：米中対立とアジア・日本	山本 秀也
957	兵器と大学：なぜ軍事研究をしてはならないか	池内 了、小寺 隆幸 編
958	アメリカは日本の原子力政策をどうみているか	鈴木 達治郎、猿田 佐世 編
959	相模原事件とヘイトクライム	保坂 展人
960	「環境を守る」とはどういうことか：環境思想入門	尾関 周二、環境思想・教育研究会 編
961	新国富論：新たな経済指標で地方創生	馬奈木 俊介、池田 真也、中村 寛樹
962	沖縄の基地の間違ったうさ：検証 34個の疑問	佐藤 学、屋良 朝博 編
964	「原爆の図」のある美術館：丸木位里、丸木俊の世界を伝える	岡村 幸宣
965	家庭教育は誰のもの?：家庭教育支援法はなぜ問題か	木村 涼子
966	共謀罪の何が問題か	高山 佳奈子
967	脳を守ろう：脳梗塞・認知症を予防するために	岩田 誠
968	ルボどうなる?どうする?築地市場：みんなの市場をつくる	永尾 俊彦
969	3.11後の子どもと健康：保健室と地域に何ができるか	大谷 尚子、白石 草、吉田 由布子
970	自死は、向き合える：遺族を支える、社会で防ぐ	杉山 春
971	経済的徴兵制をぶっ潰せ!：戦争と学生	雨宮 処凛、入江 公康、栗原 康、白井 聡、高橋 若木、布施 祐仁 マニエル・ヤン
972	メディアに操作される憲法改正国民投票	本間 龍
973	「自粛社会」をのりこえる：「慰安婦」写真展中止事件と「表現の自由」	安 世 鴻、李 春 熙、岡本 有佳
974	教育勅語の何が問題か	教育史学会 編
975	リニア新幹線が不可能な7つの理由	樫田 秀樹
976	スノーデンが語る「共謀罪」後の日本：大量監視社会に抗するために	軍司 泰史
977	保育園は誰のもの：子どもの権利から考える	普光院 亜紀

978	核兵器を禁止する：条約が世界を変える	川崎 哲
979	「北朝鮮の脅威」のカラクリ：変質する日本の安保政策	半田 滋
980	裁量労働制はなぜ危険か：「働き方改革」の間	今野 晴貴、嶋崎 量 編
982	ファクトチェックとは何か	立岩 陽一郎、楊井 人文
983	どんなことが起こってもこれだけは本当だ、ということ。：幕末・戦後・現在	加藤 典洋
984	検証迷走する英語入試：スピーキング導入と民間委託	南風原 朝和 編
985	アニマルウェルフェアとは何か：倫理的消費と食の安全	枝廣 淳子
986	「明治礼賛」の正体	斎藤 貴男
987	辺野古に基地はつくれない	山城 博治、北上田 毅
988	地域の食をブランドにする！：食のテキストを作ろう	金丸 弘美
989	調査報告学校の部活動と働き方改革：教師の意識と実態から考える	内田 良、上地 香杜、加藤 一見、野村 駿、太田 知彩
990	いま、「平和」を本気で語るには：命・自由・歴史	ノーマ・フィールド
991	就学時健診を考える：特別支援教育のいま	小笠 毅 編
992	うつ時々、躁：私自身を取り戻す	海空 るり
993	やっぱりいらない東京オリンピック	小笠原 博毅、山本 敦久
994	フット・ボルタージュ福島「復興」に奪われる村	豊田 直巳
996	国家機密と良心：私はなぜペンタゴン情報を暴露したか	ダニエル・エルズバーク著；梓澤 登、若林 希和 訳
997	「みんなの学校」から「みんなの社会」へ	尾木 直樹、木村 泰子
998	裁判官が答える裁判のギモン	日本裁判官ネットワーク
999	安全な医療のための「働き方改革」	植山 直人、佐々木 司
1000	公文書管理と民主主義：なぜ、公文書は残されなければならないのか	潮畑 源
1001	「宿命」を生きる若者たち：格差と幸福をつなぐもの	土井 隆義
1002	命に国境はない：紛争地イラクで考える戦争と平和	高遠 菜穂子
1003	プラスチック汚染とは何か	枝廣 淳子
1004	水道民営化で水はどうなるのか	橋本 淳司
1005	年表昭和・平成史：1926-2019	中村 政則 編、森 武彦 編
1006	安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと	安藤 泰至
1007	日本人の歴史認識と東京裁判	吉田 裕
1008	介護職がいなくなる：ケアの現場で何が起きているのか	結城 康博
1009	過労死110番：働かせ方を問い続けて30年	森岡 孝二 編 大阪過労死問題連絡会 編
1010	外国人労働者受け入れを問う	宮島 喬、鈴木 江理子
1011	文化財返還問題を考える：負の遺産を清算するために	五十嵐 彰
1012	最低賃金：生活保障の基盤	日本弁護士連合会貧困問題対策本部 編
1013	マッちゃん84歳 人生店じまいはムスカシイ	沼野 正子
1014	韓国併合110年後の真実：条約による併合という欺瞞	和田 春樹
1015	実践で学ぶ「生物多様性」	鷲谷 いづみ
1016	気候危機	山本 良一
1017	韓国徴用工裁判とは何か	竹内 康人
1018	ボランティアってなんだっけ？	猪瀬 浩平
1019	インディオの村通い40年：〈いのち〉みつめて	清水 透
1020	迷走する教員の働き方改革：変形労働時間制を考える	内田 良、広田 照幸、高橋 哲、嶋崎 量、斎藤 ひでみ
1022	沖縄を世界軍縮の拠点に：辺野古を止める構想力	豊下 愼彦、北上田 毅、吉川 秀樹、大城 尚子、豊田 祐基子 沖縄対外問題研究会 著
1023	ひきこもりのライフプラン：「親亡き後」をどうするか	斎藤 環、畠中 雅子
1024	介護保険が危ない！	上野 千鶴子 編、樋口 恵子 編
1025	強制不妊と優生保護法：“公益”に奪われたいのち	藤野 豊
1026	どうする!?新型コロナ	岡田 晴恵
1027	加害者家族を支援する：支援の網の目からこぼれる人々	阿部 恭子
1028	明子のピアノ：被爆をこえて奏で継ぐ	中村 真人
1029	湯川秀樹の戦争と平和：ノーベル賞科学者が遺した希望	小沼 通二
1030	永遠の化学物質（フォーエバー・ケミカル）：水のPFAS汚染	ジョン・ミッチェル、小泉 昭夫、島袋 夏子、阿部 小涼
1031	官製ワーキングプアの女性たち：あなたを支える人たちのリアル	竹信 三恵子 編、戒能 民江 編、瀬山 紀子 編
1032	子どもの心の声を聴く：子どもアドボカシー入門	堀正 嗣
1033	買い物難民対策で田舎を残す	村上 稔
1034	最新知見で新型コロナとたたかう	岡田 晴恵
1035	成人式とは何か	田中 治彦
1036	見えない脳損傷MTBI	山口 研一郎
1037	裁判官だから書けるイマドキの裁判	日本裁判官ネットワーク
1038	あなたの老後を助けるケアマネさんの仕事がわかる本	沖藤 典子
1039	地域を変えるソーシャルワーカー	朝比奈 ミカ
1040	死刑廃止を考える	菊田 幸一
1041	震災復興10年の総点検：「創造的復興」に向けて	五十嵐 敬喜、加藤 裕則、渡辺 勝道
1042	3.11を心に刻んで	岩波書店編集部 編
1043	狙われる18歳!?：消費者被害から身を守る18のQ&A	日本弁護士連合会消費者問題対策委員会 著
1044	有機農業で変わる食と暮らし：ヨーロッパの現場から	香坂 玲、石井 圭一
1045	第四次産業革命と教育の未来：ポストコロナ時代のICT教育	佐藤 学
1046	消えたヤマと在日コリアン：丹波篠山から考える	細見 和之、松原 薫、川西 なを恵
1047	気候崩壊：次世代とともに考える	宇佐美 誠
1048	被爆者からあなたに：いま伝えたいこと	日本原水爆被害者団体協議会
1049	里山危機：東北からの報告：フォト・レポート	永幡 嘉之
1050	街路樹は問いかける：温暖化に負けない「緑」のインフラ	藤井英二郎、海老澤 清也、富内 匡、水真 洋子
1051	日本学術会議の使命	池内了、隅岐 さやか、木本 忠昭、小沼 通二、広渡 清吾
1052	「私物化」される国公立大学	駒込 武
1053	トットちゃんと訪ねた子どもたち：フォトエッセイ：撮り続けて三十五年	田沼 武能
1054	アウシュヴィッツ生還者からあなたへ：14歳、私は生きる道を選んだ	リアナ・セグレ 述、中村秀明 訳
1055	核兵器禁止から廃絶へ	川崎 哲
1056	#教師のバトンとはなんだったのか：教師の発信と学校の未来	内田 良、斎藤 ひでみ、嶋崎 量、福嶋 尚子
1057	東京オリンピック始末記	小笠原 博毅、山本 敦久
1058	「感動ポルノ」と向き合う：障害者像にひそむ差別と排除	好井 裕明
1059	「必要」から始める仕事おこし：「協同労働」の可能性	日本労働者協同組合連合会 編
1060	フット・ボルタージュ福島人なき「復興」の10年	豊田 直巳
1061	外国人労働相談最前線	今野 晴貴、岩橋 誠
1062	「障害」ある人の「きょうだい」としての私	藤本 和子
1063	ルポ大阪の教育改革とは何だったのか	永尾 俊彦
1064	誰のための排除アート?：不寛容と自己責任論	五十嵐 太郎
1065	いじめ加害者にどう対応するか：処罰と被害者優先のケア	斎藤 環、内田 良
1066	廃炉とは何か：もう一つの核廃絶に向けて	尾松 亮
1067	ブルーカーボンとは何か：温暖化を防ぐ「海の森」	枝廣 淳子
1068	危機の中の学問の自由：世界の動向と日本の課題	羽田 貴史、広渡 清吾、水島 朝穂、宮田 由紀夫、栗島 智明

1069	佐渡鉱山と朝鮮人労働	竹内 康人
1070	うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史：国歌はうたう	沢知 恵
1071	隣人のあなた：「移民社会」日本でいま起きていること	安田 菜津紀
1072	培養肉とは何か？	竹内 昌治、日比野 愛子
1073	「情報自由法」で社会を変える！：情報開示最強ツールの実践ガイド	ジョン・ミッチェル 著、阿部 小涼 訳
1074	HSPブームの功罪を問う	飯村 周平
1075	私たちと戦後責任：日本の歴史認識を問う	宇田川 幸大
1076	世界の片隅で日本国憲法をたぐりよせる	大門 正克
1077	真夏の甲子園はいらない：問題だらけの高校野球	玉木 正之、小林 信也 編
1078	学校を改革する——学びの共同体の構想と実践	佐藤 学
1079	史上最悪の介護保険改定？！	上野 千鶴子、樋口 恵子 編
1080	検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？	小野寺 拓也、田野 大輔
1081	「ひきこもり」の30年を振り返る	石川 良子、林 恭子、斎藤 環
1082	被害者家族と加害者家族 死刑をめぐる対話	原田 正治、松本 麗華
1083	関東大震災と流言：水島爾保布 発禁版体験記を読む	前田 恭二 編著
1084	海を渡った「ナバーム弾の少女」：戦争と難民の世紀を乗り越えて	藤 えりか
1085	高校入試に英語スピーキングテスト？：東京都の先行事例を徹底検証	大津 由紀雄、南風原 朝和 編
1086	「江戸の選挙」から民主主義を考える	柿二 明二
1087	再審制度ってなんだ？：袴田事件から学ぶ	村山 浩昭、葛野 尋之 編
1088	同性婚法制化のためのQ&A	「結婚の自由をすべての人に」訴訟全国弁護士連絡会
1089	命をつなぐ、献血と骨髄バンク	岡田 晴恵
1090	トランスジェンダーと性別変更：これまでとこれから	高井 ゆと里 編
1091	教育DXと変わり始めた学校：激動する公教育の現在地	佐藤 明彦
1092	現場から考える国語教育が危ない！：「実用重視」と「読解力」	村上 慎一、伊藤 氏貴
1093	選択的夫婦別姓 これからの結婚のために考える、名前の問題	寺原 真希子、三浦 徹也
1094	農業が温暖化を解決する！：農業だからできること	枝廣 淳子
1095	データから読む 都道府県別ジェンダーギャップ：あなたのまちの男女平等度は？	共同通信社会部ジェンダー取材班 編
1096	「ガザ」からの報告：現地で何が起きているのか	土井 敏邦
1097	引き揚げを語る：子どもたちの戦争体験	読売新聞生活部
1098	ナチスに抗った教育者：ライヒヴァインが願ったこと	對馬 達雄
1099	イスラエルとパレスチナ：ユダヤ教は植民地支配を拒絶する	ヤコブ・ラブキン 著、鶴飼 哲 訳